

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すだち旭が丘		
○保護者評価実施期間	R6年10月8日		～ R6年10月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 19名(内兄弟児2組)
○従業者評価実施期間	R6年10月8日		～ R6年10月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年11月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の事業所に対する満足感が高い。また利用児童の満足感も高い。保護者の方の相談に迅速に対応することで信頼や満足に繋がっている。	保護者が安心して預けていただけるような環境づくりと支援プログラムの作成。利用児童が安心安全に通っていただけるように職員配置と情報の共有、ヒヤリハット事例、苦情など情報を共有、周知することで徹底している。	利用児童が楽しんで通っていただけるような環境づくりと職員の教育の強化。
2	活動プログラムを複数人で担当することによって、内容の偏りや固定化を防いでいる。季節の行事、クッキング、外出を取り入れ新鮮さを感じてもらっている。	5領域を意識したうえで、季節を感じる行事、制作、子どもの達成感を得られるような活動プログラムを作成している。また子供の自己肯定感に繋がるように、個々に合わせた内容で活動を実施している。	常に新鮮さを感じてもらえるような活動の作成、季節感を感じてもらえる行事への取り組みをさらに発展させていく。
3	適切な支援計画と職員の支援に対する保護者からの評価が高い。また支援計画や方法についての説明についても高い評価が得られている。	職員が常に個別計画を意識して支援に当たれるような環境作りと子供の特性についての情報共有を重要視している。保護者に対しては個別支援の説明以外にも質問や要望について迅速な対応を行っている。	今後も利用児童の特性を注視し、より特性に対してアプローチできるような支援計画の作成と、楽しんで取り組める、子どもたちが自主的に取り組んでくれるような魅力のある支援プログラムを作成していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間や兄弟同士の交流の場が十分ではない。	保護者会を実施してはいるが回数が少なく、交流の場としては十分ではない。また兄弟児向けのイベントの開催などが行えていない。	保護者会の開催時期の見直し、参加人数や機会を増やせるように検討していく。兄弟児が参加しやすいような企画の検討もしていく。
2	有事に際の施設としての対応について訓練や研修などで有事を想定した教育を実施しているが情報発信不足で保護者に十分に浸透していない。	避難訓練や各種研修及び訓練を行って有事に備えているが、情報発信力不足で保護者に伝わっていない。ブログをはじめ様々な形で発信しているが十分ではない。	ブログや会報だけでなく、さらに情報発信力を高めていけるよう施策を実施していく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流、地域のほかの子供と接する機会が少ない。	定期的に児童館には訪問しているが、できて間もない施設という事もあり、関わる機会が設けられていない。	周辺の児童クラブに連絡を取りながら、交流が持てるように働きかけていく。